

西之島, 2021 年 11 月 25 日の活動

概要

共同通信社の社機により 11 月 25 日に西之島を上空から観察したところ、有色噴煙と降灰を確認したため、小規模な噴火活動をしていると判断される。

本文

2021 年 11 月 25 日に西之島を共同通信社の社機からから観察した。11 時 52 分頃の直前に比較的大きな噴火があったようで、たなびく噴煙から降灰を確認した(写真 1)。また、火口から有色噴煙が立ち上り、火口の外側にも多数の噴気が認められた(写真 2)。さらに西之島の風下側を飛行した際、航空機に微量の火山灰が付着した(写真 3)。機体に付着した火山灰をふき取り持ち帰り、顕微鏡観察を行ったところ、泥サイズ以下($<63\mu\text{m}$)以下の極細粒の粒子(おそらくガラス質の岩石片と結晶)からなる火山灰であった(写真 3)。火口外に降灰が確認されたため、極小規模ではあるが噴火が発生しているといえる。



写真 1 11 時 54 分頃に東から望む西之島。到着数分前に比較的大きな噴火があったようで、たなびく噴煙から火山灰が降下している(囲った部分)。

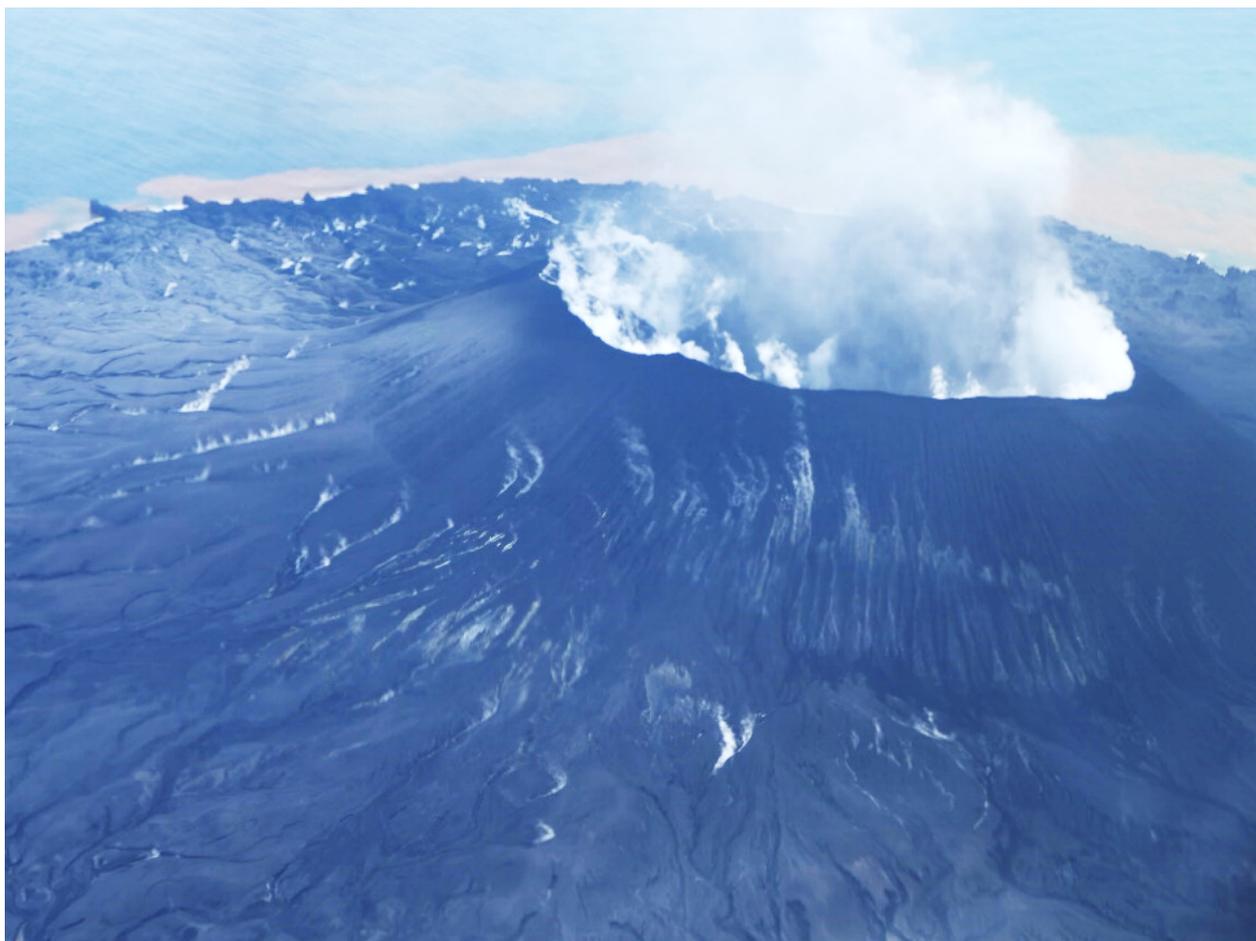


写真2 有色噴煙を上げる西之島（北東側から 11 時 53 分頃）。火口以外からも噴気が上がる。



写真3 飛行機の機体についた火山灰。機頭に付着した火山灰。13:20 頃硫黄島で給油中に撮影。

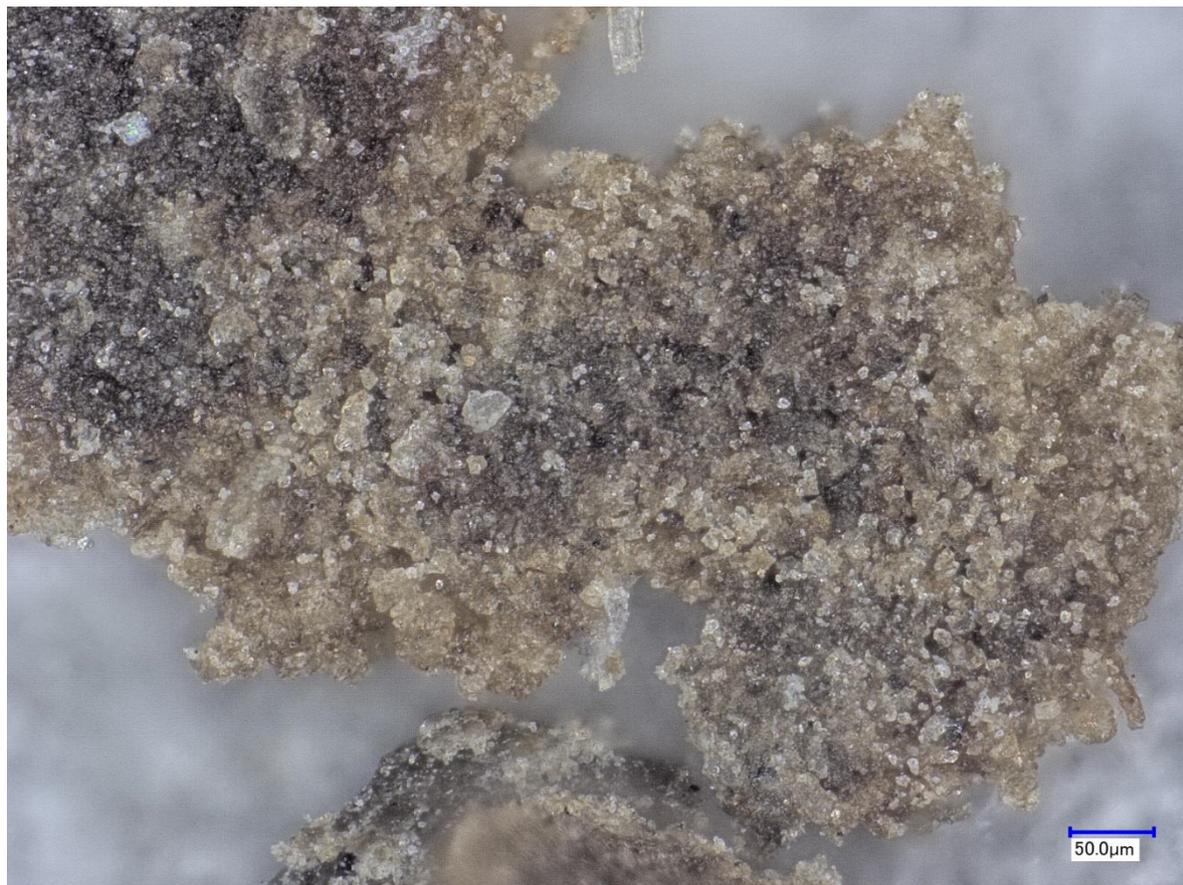


写真4 機体に付着した火山灰のデジタル顕微鏡写真.

10 μm 以下の細粒の粒子で構成される。深度合成と HDR 処理を行っている。

謝辞：共同通信社には上空から西之島を観察する機会を与えていただいた。ここに記して感謝します。